

研究報告書第 66 号
G1101

—山形県教育センター委託事業—

生きる意味と目的を高める特別活動の研究

2000. 3



山形県教育文化フォーラム

研究報告書第 66 号 (平成 12 年 3 月刊行)

生きる意味と目的を高める特別活動の研究

山形県教育文化フォーラム

目 次

I 研究のねらい

II 研究の進め方

III 研究の内容

- 1 特別活動の見直しと総合的な学習
- 2 ガイダンス機能の充実
- 3 個性の重視と協調性の育成
- 4 新しい学校文化づくり

実践事例

- ◇ 生徒会活動活性化の手立て ―学級活動から生徒会活動へ―
- ◇ 地域教育力を生かした特別活動 ―郷土を愛する豊かな心を育てるために―
- ◇ 道德教育と特別活動のクロスカリキュラム ―「総合的な学習の時間」への試み―
- ◇ 新しい学校文化づくりのためのホームルーム活動
- ◇ 地域社会へ貢献する特別活動 ―地域に根ざしたたくましい人間の育成―

提 言 (特別寄稿)

生き方の指導の充実を目指した特別活動の在り方について

山形大学教育学部 助教授 渡辺 誠一

IV まとめと今後の課題

研究の概要

- 1 本研究は、子ども一人ひとりが生き方や生きる意味を問いかけながら、自己を啓発できる特別活動の姿を探ろうとしたものである。
- 2 第一に、これまでの特別活動を見直し、総合的な学習との有機的な関連を図ること、第二に、特別活動におけるガイダンス機能の充実を図ること、第三に、個性を重視しながら協調性をも育成すること、第四に、学校観を問い直し、新しい学校文化づくりをすることの4点を研究の柱とした。
- 3 望ましい特別活動の姿として、次の提言をした。
 - (1) 集団活動、体験活動を重視する特別活動と他の学習分野、特に総合的な学習との整合性と体系化を図り、教科・科目の枠を超えた「学習の総合化」の実現を図りたい。
 - (2) 特別活動は、子どもの自己発見や自己実現を図るうえで、ガイダンス機能を発揮しやすい場である。とりわけ、学級（ホームルーム）活動を通して、ガイダンス機能の充実を図る必要がある。
 - (3) 校内外の様々な集団活動の場で自己教育力や省察力の素地を培うため、個性を伸ばしながら協調性を涵養する指導方法についての問い直しが必要である。
 - (4) 特別活動と総合的な学習は学校文化づくりの格好の場である。教師の意識を改革し、学校が地域社会に接近して「開かれた学校」を創造することにより、地域に根ざした新しい学校文化づくりが可能になる。
- 4 各学校における実践を進める際の参考資料として、「生き方の指導の充実を目指した特別活動の在り方について」の寄稿論文と県内先進校の実践例を提示した。

キーワード (学習の総合化) (教師の働きかけ) (信頼と一体感)
(生徒文化) (教師の意識改革)

は し が き

先ごろ、県内公・私立高校と特殊学校高等部の生徒による「高校生議会」が県議会議場で開かれました。各地区代表議員が〈県高校教育の抜本的改革〉の提案をはじめ、障害者への配慮や農業、環境、国際交流などの“県政課題”を取り上げ、知事・部長役の高校生もユニークな発想で前向きな答弁を行い、傍聴席の知事や議長さん方も大いに感心したということです。特に、非行や無目的化などの教育問題については、高校生教育長が「生徒自身による楽しい授業、活気ある学校づくり」の検討を約束し、自らの手で問題解決しようという決意を示して、多くの県民にさわやかな印象を与えてくれました。

これまでの「さんフェア山形'96」や「高文祭やまがた'99」の経験を生かした、高校生が主役の好企画であったと思います。

このような価値ある体験を通して、生徒たちは、郷土への理解を深め、将来の進路への意識を高めながら、「生きる力」の基本を身につけていくものと考えられます。

また、この中学・高校時代の生徒たちにとっては、様々な出会いをもつ学級・ホームルームや多彩な個性を発揮し合う生徒会行事などの特別活動が、まさに記憶に残る、楽しい人間形成の場であることを示しているように思われます。

この「生きる意味と目的を高める特別活動の研究」は、そのような生徒たちの「自分さがしの旅」を扶ける営みである特別活動の意義をより重視し、これからの各学校の取り組み、とりわけ「しなやかな感性とたくましい社会性」(四教振)をはぐくむ指導法開発の一助になればということからまとめられたものです。

研究に当たっては、学校週5日制への対応や開かれた学校、生涯学習などの観点から、新たな「総合的な学習」の導入や「ガイダンス機能」の充実という好機をとらえ、特別活動の見直しと活性化のための手がかりを明らかにしたいと考えました。

また、学級・ホームルーム活動から生徒会活動や新しい学校文化づくりへの広がり、地域での体験学習や参加活動による郷土意識の高まり、そして学習活動の総合化を目指したクロスカリキュラムの試みなどの先進的な実践事例を通して、特別活動の幅広さや柔軟性と学校教育全体への波及効果についても提示しようと努めました。

本報告書は、県教育センターの委託を受け、当フォーラムが調査研究に当たり、広く教育文化の環境づくりに資するよう刊行したものです。本書が多くの皆さん方に活用され、各学校での創意工夫につながることを期待しております。

最後に、本研究のため真摯に参加していただいた研究協力校と県教育センターの担当者の方々、また懇切なご助言と特別寄稿を賜りました山形大学教育学部の渡辺誠一助教授、さらに広い視野からご指示くださいました国立教育研究所の西野真由美、谷田部玲生両主任研究官には心から感謝申し上げます。

平成 12 年 3 月

山形県教育文化フォーラム
会長 佐藤 進

研究協力者

- 尾花沢市立尾花沢中学校 教諭 笹原 晋一（平成10年度）
教諭 植松 敏（平成11年度）
○南陽市立吉野中学校 教諭 武田 篤（平成10年度、11年度）
○酒田市立第六中学校 教諭 那須 俊行（平成10年度、11年度）
○山形県立上山明新館高等学校 教諭 板垣 敏之（平成10年度、11年度）
○山形県立寒河江工業高等学校 教諭 沼澤 千春（平成10年度、11年度）

《平成9年度》

◇研究担当者◇

事務局兼企画部長	後藤 光男	主査	阿部 忠喜
教育研究部長	白畑 博	主任研究員	鈴木 一志
主任研究員	佐藤 毅	主任研究員	木村 致洋子
主任研究員	原田 克彦	主任研究員	秋場 福廣

◇研究協力者◇

教育センター 主任指導主事 長谷川 肇
指導主事 中山 英行 指導主事 渋谷 健一

《平成10年度》

◇研究担当者◇

事務局長	後藤 光男	事務局長代行	今田 裕
企画部長	阿部 忠喜	企画主査	白畑 博
教育研究部長	二藤 邦幸	主任研究員	原田 克彦
主任研究員	佐藤 仁	主任研究員	若林 和子
主任研究員	片桐 正志		

《平成11年度》

◇研究担当者◇

理事・事務局長	深瀬 宏隆	教育企画部長	阿部 忠喜
教育企画部主査	今田 裕	教育企画部主査	竹内 善彌
教育研究部長	二藤 邦幸	主任研究員	佐藤 仁
主任研究員	若林 和子	主任研究員	岩井 貞善

目次

I 研究のねらい	1
II 研究の進め方	2
III 研究の内容	
1 特別活動の見直しと総合的な学習	3
2 ガイダンス機能の充実	5
3 個性の重視と協調性の育成	7
4 新しい学校文化づくり	9

実践事例

◇ 生徒会活動活性化の手立て —学級活動から生徒会活動へ—	11
◇ 地域教育力を生かした特別活動 —郷土を愛する豊かな心を育てるために—	15
◇ 道徳教育と特別活動のクロスカリキュラム —「総合的な学習の時間」への試み—	19
◇ 新しい学校文化づくりのためのホームルーム活動	23
◇ 地域社会へ貢献する特別活動 —地域に根ざしたたくましい人間の育成—	27

提言（特別寄稿）

生き方の指導の充実を目指した特別活動の在り方について 山形大学教育学部 助教授 渡辺 誠一	31
--	----

IV まとめと今後の課題	35
--------------	----

I 研究のねらい

子ども一人ひとりが生き方や生きる意味を問いかけながら、自己を啓発できる特別活動の姿を探る。

- 子どもをとりまく生活環境が急激に変化しており、他者とのかかわりが希薄化してきている。更に、子どもの成長に有効な自然体験や生活体験の場もほとんどなくなっている。こういう中でこそ生きる意味を自覚させ、来るべき時代を生き抜く力を育成する努力が大切である。
- 自己教育力の基礎を築き、人間としての在り方生き方を学ばせ、豊かな人間性を育むことは教科教育だけでは十分とは言えない。各教科や総合的な学習、道徳、特別活動を関連づけ、体系化を目指して補完し合うように工夫しなければならない。
- 教科・科目の選択あるいは進路の選択に際しては、特に子ども自身に問題解決を図らせるために適切な指導・援助をしてやらなければならない。ここに、ガイダンス機能の充実が待たれる。
- 次代を担う子どもたちにとって、個性の重視とともに協調性の育成を強化する必要がある。両者の調和を取りながら、しなやかな感性とたくましい社会性を育むような特別活動を目指したい。
- 学校週5日制への対応や開かれた学校、生涯学習などの観点から、学校観を問い直し、地域における学校の役割を見直して、新しい学校文化づくりに努める必要がある。特に、学校と家庭・地域社会との連携の在り方とその中身を吟味しながら、健全な生徒文化が形成されるように、地域に根ざした特別活動の活性化を図りたい。

このような課題意識をもち、特別活動の在り方を探ろうとした。

II 研究の進め方

本研究は、3か年継続研究として次のように進めてきた。

第1年次（平成9年度）

- 生き方にかかわる基礎研究

生きる力を「たくましさ（意欲）」、「やわらかさ（社会性）」、「ゆたかさ（創造性）」の視点からとらえたとき、中・高校生の心の内面は、どのように育まれているのかを明らかにしようとした。そのため、中学校、高等学校各15校を無作為に選び、2年生600人ずつを対象とする実態調査を実施した。

第2年次（平成10年度）

- 生き方にかかわる文献研究を進めるとともに、ねらいを達成するために次の柱立てをした。
 - ① 特別活動の見直しと総合的な学習
 - ② ガイダンス機能の充実
 - ③ 個性の重視と協調性の育成
 - ④ 新しい学校文化づくり
- 本研究の進め方について、国立教育研究所西野真由美主任研究官から指導・助言をいただいた。
- 中学校、高等学校の研究協力者を委嘱し、実践に向けた研究協力者会議を開催した。

第3年次（平成11年度）

- 研究協力者会議で、実践内容について検討し、実践結果について協議した。
- 国立教育研究所谷田部玲生主任研究官から全国的な趨勢についての情報提供と指導をいただいた。
- 山形大学教育学部渡辺誠一助教授から研究のまとめに関する指導と論文をお寄せいただいた。

Ⅲ 研究の内容

1 特別活動の見直しと総合的な学習

(1) 特別活動を見直す背景と視点

特別活動のねらいは、集団活動を通して、主体的で実践的な態度を育て、人間としての在り方生き方を自覚させ、自己を生かす態度を養うことにある。

いま、子どもをとりまく生活環境は急激に変化し、

① 心の豊かさが失われ、思いやりなど他者とのかわりが希薄化し

② 核家族、少子家族の増加により、保護者の過干渉、過保護が目立つ一方で、養育生活の基本的習慣を身につけさせることなど、家庭の教育力が低下しており

③ 自然体験、生活体験の場が少なくなる傾向がみられ

④ 多くの情報の中で、どの情報を自分のものにしたらいいか子どもが迷い

⑤ 高校、大学への入試が、子どもの学習意欲や進路意識などをゆがめる傾向にあることなどから、集団の一員としての在り方や人間関係の形成について学ぶ機会も少なくなっている。

このような中で、特別活動では教師と子ども、子ども同士の交流を通して、すべての子どもに、それぞれの個性を発揮し、他の人格と人権を尊重して、自ら学び続ける主体性や自己教育力を身につけさせ、更に市民としての権利と義務、自由と責任を理解し、それらを日常生活の中で実践できる能力を身につけさせなければならない。

指導に際しては、子どもがもつ活動意欲を喚起し、主体的に活動できるようにするため、自己理解を深めながら、人間としての在り方生き方を学ばせ、豊かな人間性を育むことに留意する必要がある。

また、これまでの特別活動はどちらかというと領域主義になりがちであり、それぞれの分野が個別的に考えられ、他の学習活動との関連が薄かったように思われる。このような在り方は互いに重複があり体系的に機能せず、十分な効果を期待することができない。特別活動のもつ本来の意味から考えても、他の学習分野との整合性と総合化を図らなければならない。

(2) いま、なぜ「総合的な学習」なのか

総合的な学習のねらいは自ら課題を見つけ、考え、判断し、問題を解決する資質や能力を育てることにある。併せて、学び方やものの見方・考え方を身につけ、生涯を通じて問題解決や探求活動に主体的・創造的に取り組む力を育てていくことにある。

いわゆる「生活知」が細分化し、その量が膨大となり、自分の中での総合化が困難になってきている。また、学校で学ぶ教科も専門化・高度化し、「生活知と学校知の乖離」が起きているように思われる。そこで、教科・科目中心主義からの発想転換を図り学習の重複を避けながら、知識の有機的関連づけを強め、教科・科目の枠を超えた「学習の総合化」を実現することが必要である。更に、今日的な社会的課題や地域の歴史と文化などに関心をもち、体験的・総合的な学習を展開することによって、激しく変化する社会への主体的な対応力を養うことにもなり得るのである。

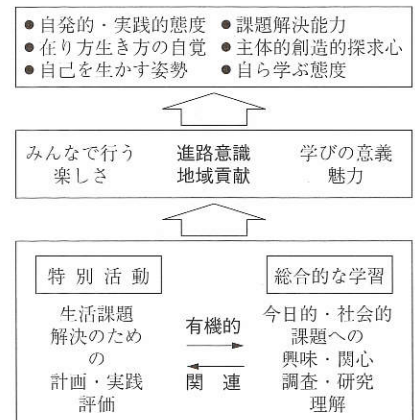
(3) 特別活動と総合的な学習の有機的関連

特別活動は自らの学校生活の課題を主体的に解決するための学習をねらいとし、実践・行動することを前提としているのに対し、総合的な学習は今日的・社会的な課題についての関心や理解の深化を図るため、教科・領域の枠を超えて自発的に学習することを目的としている。したがって、総合的な学習での学習の成果を実践のレベルにまで高め、発展させ、深化させることが期待されていると言える。このように両者の有機的関連を図ることによって、子どもが物事を立体的・総合的にとらえ、自発的・主体的な特別活動とすることができるよう、指導・援助することが求められている。

◇ 酒田第六中学校は、豊かな道徳性を養うには、道徳の時間での指導と、学校行事や学年・学級活動、教科と有機的に関連づけ、系統的に指導することがより効果的であるという観点に立っている。そのため、各教育活動をクロスさせるとともに、子どもの成長にとって、教師の豊かな心の在り方を基盤とした支援や指導が前提となることを重視している。その実践の結果、子どもがより深く物事を考え、共感する姿勢や主体的に生きる姿勢が身についてきたという貴重な報告である。

◇ 吉野中学校の事例は、地域の方々に講師としての講話と実体験（見る・触れる・感じる）によるバランスのよい学習の実践であり、次代の子どもに生きる知恵を授ける特別活動と総合的な学習の両面を兼ね備えた新しい地域学習の試みである。

◇ 工業高校には教科として「課題研究」があるが、それは1、2年で工業の基礎を学び、その集大成を目指すものであり、総合的な学習の一つと言ってもよいだろう。寒河江工業高等学校でのハイテク技術を駆使した「みこし」製作は、課題研究の域を超え、しかも校内だけにとどまらず、積極的に地域への働きかけを試みた新しい観点での特別活動と総合的な学習の実践として高い評価を得ている。



2 特別活動におけるガイダンス機能の充実

(1) ガイダンス機能の充実が強調される背景

子どもたちの生きる意味と目的を高めるために、特別活動においてガイダンス機能を充実させる必要があることが、最近特に強調されている。

その背景としては様々なことが考えられるが、子どもに関しては以下の3点にまとめることができる。

ア 急激に進む社会の変化に対応できる資質・能力の育成が強く望まれていること。

特に、自己の在り方生き方や将来の進路設計を考えることのできる資質・能力の育成が重視されていること。

イ 子どもを学ぶ主体と位置づけ、子ども自身の生き方や問題解決を支援していくことが重要であるとする考えが強調されていること。

ウ 教育内容の選択幅を拡大するという方向にあり、そのための情報提供や指導・援助を適切に行うことが求められていること。

(2) ガイダンスの基本的な考え方

ガイダンスとは生活の中で起こる問題を子ども自らが解決できるように援助することを意味する。つまり、子どもの問題を教師や大人が解決してやるのではなく、自らの問題を解決しようとする子どもを助けることである。したがって、ガイダンスの役割・機能は、子どもがもっている自己解決力や自己教育力などを喚起し成長させることにこそあると言えることができる。

また、ガイダンスにおける基本的な考え方としては、次のようなことがあげられる。

子ども個人の価値が最も重要なものであるとの考えに立ち、子どもの独自性を尊重すること、対象となるのはすべての子どもであり、ガイダンスは連続的な過程であり、結果というよりはその過程そのものを重視するものであることなどである。

(3) 特別活動とガイダンス機能

ガイダンス機能を充実することの必要性が主張されるのは、一言で言えば、子どもが自らの現在及び将来の生活や学習、進路に積極的に対処し、自己を生かすことができるように育てることが求められているからである。つまり、主体的に生きる力の育成が求められているのである。

したがって、ガイダンス機能は学校のエデュケーション全体を通してその充実が図られなければならないが、なかんずく特別活動領域での充実策が強く求められている。これは、特別活動の様々な特性、たとえば、①教師や子どもの人間的交流を中核とする集団的な教育活動、

②子どもがそれぞれの個性を発揮し人格を尊重し合う個性育成の教育活動、③自発的な行動や実践的教育活動を活用することによる教育効果などが期待できるからである。

また、これらの特質から、子ども自身の生活に関する問題や自己の進路・職業などについて考え、将来に向かって自己発見や自己実現を図る課題を、自らの力で解決できるように指導・援助するうえで、特別活動は教師の積極的な働きかけとしてのガイダンス機能を発揮しやすい場であると考えられるからである。

(4) 特別活動におけるガイダンス機能の生かし方

ア ガイダンス機能は学級（ホームルーム）活動の中でよりよく発揮されることが多い。

これは、学級（ホームルーム）活動の次の特質による。

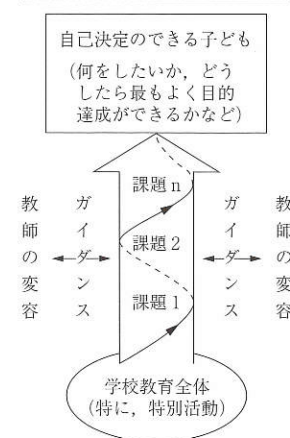
- ① 学級（ホームルーム）や学校の生活への適応を図る活動であること
- ② 当面する諸課題の解決を通して子ども自らが自己教育力を養う活動であること
- ③ 人間としての在り方生き方に関する指導が行われる中心的な場であること

◇ 尾花沢中学校の実践事例は、そのサブテーマが「学級活動から生徒会活動へ」とあるように、それまでの「生徒会から学級へ」の方向性を見直し、学級活動の活性化こそが生徒会活動の活性化、つまりは学校の活性化を推進する基盤となるとする考えで進められたものである。そこでは「学級発信」という素材（手法）を介しながら、子どもの主体的・自発的な活動を育てるために、綿密なガイダンスが行われ指導効果を高めている。

イ ガイダンスは、子どもが自分の問題について自己決定できるように支援することから始まる。

◇ 上山明新館高等学校は、それまでの県立上山高等学校と県立上山農業高等学校を統合し、新しい高校として誕生した学校である。新しい学校文化・校風を創造するためには、子どものやる気（意欲）の育成こそがすべての出発点であるとの認識のもと、ホームルームの場で子どもの身近な課題に即して、その解決を自己決定できるようなガイダンスを地道に、計画的に実践している。また、ホームルームが教師のこれまでの経験・体験を人間の在り方生き方のモデルとして生かせる場であると捉えており、その効果を一層確かなものにしていく。

ガイダンスと子ども・教師の変容



3 個性の重視と協調性の育成

(1) 個性重視の教育の考え方

人は誰もが、人として生きる固有の資質をもって生まれ「人としてよりよく生きたい」という願いをもっている。その固有の資質は人間関係の様々なかわりを通して開花し、固有の人格として形成されていくものと言えよう。

個性重視の教育は、一人ひとりの固有の資質の独自性を重視し、他との協調・協同の中で自己の確立を図るとともに、他をも十分に尊重する精神を培うことを目指している。つまり、この教育の目的は、一人ひとりが人として生きるための人格を陶冶し、よりよく生きるためのその人らしい生き方を追求するものである。

学校では、この観点から、将来に大きな希望をもって今を真剣に生きている一人ひとりの子どもたちの輝く個性を大事にし、あらゆる機会を通して支援していくことが大切である。ただし、子どもの独自性を重視するあまり、自分本位の無軌道な自由奔放に流れることのないよう十分に配慮しなければならない。

そのためには、校内に限らず校外をも含めた様々な集団活動を通して、他の人間との多様なかわりを体験させ、人格形成に向けた自己教育力や省察力などの素地を培うことが必要である。

(2) 個性重視にかかわる現状と問題点

最近の子どもたちには、他の人とのかわりから逃避したり、無軌道とも思われるような行動に走ったりするなどの傾向がみられる。

本来、子どもたちは「いつも自分らしく生きたい」と真剣に願い、その子どもなりに精一杯生きようとしている。それに対し、家庭や学校では、物を与えては愛情と錯覚したり、同じ扱いをすることが平等であると誤解したり、常に他との比較からその子どもを判断したりなどしていないだろうか。これらは大人本位の都合と個性重視の誤った思い込みによるものと言わなければならない。

学校では、個性尊重の教育の実現に向け、
ア 「人間としての在り方生き方」について、
教師一人ひとりの個人として、組織人としての意識の確立

イ 教師の、子ども世界への共感的洞察力の
研磨と援助の在り方の工夫

ウ 個性とともに協調性や社会性を涵養する
指導方法の確立

などについての問い直しが必要ではないかと
考えられる。



個性豊かな樹々も、支え合って全体に調和する自然の姿

(3) 子どもたちの願いに応える実践

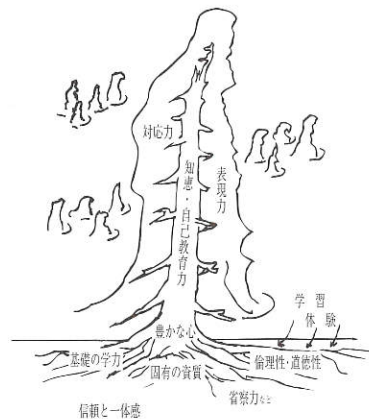
ア 豊かな心づくり

子どもは、他からの愛情に支えられて自己理解を深め、信頼と一体感を強めながら、人間関係を豊かにしていくものと考えられる。その過程で形成される倫理性・道徳性は固有の資質に浸み込ませて、よりよく生きようとする「心」を育んでいくのである。

学校は信頼と一体感で結ばれた集団でありたい。そこでの様々な体験を通して省察して自己理解を深め、倫理性・道徳性を高めて確かな自己教育力と「よりよく生きようとする力」を伸ばすのである。

◇ 酒田第六中学校の実践は、道徳と特別活動のクロスカリキュラムによる全校的な信頼と一体感のある集団づくりで、省察する力を高め、自己教育力を確かなものにする貴重な試みである。

イ 学校・学級（ホームルーム）の信頼と一体感づくり



信頼と一体感

厳しさに向かってこそ育つ、確かな個性

① どの子どもも、教師に大きく期待している。

一人ひとりの子どもの鼓動・気迫を、教師の鋭い感性で洞察し、その子どもの生きる姿を思い描きつつ、常に変容する子どもの姿に学ぼうとする受容的な姿勢で向かうことが大切である。

それが、子どもたちとの信頼を生み、集団全体の一体感を醸成することになるのである。

② どの子どもも、他と協調する中に自分らしさを探そうとしている。

学級（ホームルーム）は、自分たちの生活づくりを通して、将来自立するそれぞれの「自分探し」をする場である。

その活動は、甘えや自己中心の行動を抑えて、互いを生かし合って目標に向かうものであり、その過程で共に生きる信頼と一体感が高まり、一人ひとりの個性ある人格形成が図られるのである。

③ どの子どもも、厳しさの中に自分らしさを伸ばそうとしている。

子どもたちの「よりよく生きたい」という願いには多様な協働体験の機会が必要である。その体験によって、どの子どももその活動の社会的意義を理解し、自分の役割を主体的に受け止めて常に目標をもち、互いに工夫・挑戦できるようになるのである。

◇ 尾花沢中学校の全校への「学級発信」の活動は、互いに学び合い、省察し、自己教育力を獲得していく姿を示しており、全校的な信頼と一体感の中で、個々の個性を生かしていこうとする優れた実践である。

4 新しい学校文化づくり

(1) これらの学校

いま、教育改革の中で、「開かれた学校」をテーマに特色ある学校づくりが求められている。これまでの学校は、外部に対してとかく閉鎖的で、家庭・地域社会との連携が十分でなかったのではないかと指摘がある。更に、知識を一方的に教え込む教育に偏りがちになり、自ら学び、自ら考える力や豊かな人間性を育む教育が不十分だったのではないとも言われている。

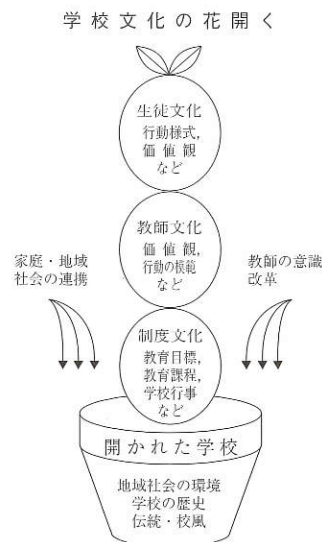
各学校とも、特色ある学校づくりのために「こういうねらいで、こういう指導・援助をして、こういう子どもを育てます」ということを明確に外に向かって示すことにより、家庭・地域社会に接近し、理解と協力を得るようにしたい。その一方で、子どもの個性を重視した教育への転換を図るとともに協調性の育成にも努め、子ども同士の好ましい人間関係や子どもと教師との信頼関係を確立し、温かい雰囲気の中で、伸びやかに自分の力を発揮できるような学校にしたいものである。

(2) 学校文化とは

各学校には独特の雰囲気がある。その雰囲気は教職員と子どもとの関係、学校の歴史と伝統や校風、地域社会の環境などによって醸し出されるものである。このような学校の雰囲気、学校の制度や組織、教師集団と子ども集団がつくり出す文化が学校文化である。

制度や組織がつくり出す制度文化はどの学校にもほぼ共通のものであるのに対して、教師集団がつくり出す教師文化、子ども集団がつくり出す生徒文化はそれぞれの学校に固有のものである。中でも、生徒文化は特色ある学校づくりと深くかかわっている。自然体験や社会体験が乏しく、いわばまがいの文化に囲まれている子どもたちに、体験的な学習を促す活動や集団活動を通して個性を生かし、主体性を育てる活動などの創意ある教育活動を充実し、生徒文化を変容させることは大切なことである。

また、学校文化は地域社会における日常生活や学校での生活の在り方ともかかわるものであり、家庭・地域社会との連携や特色ある教育課程の編成などによる「新しい学校文化づくり」に際しては、特に校長のリーダーシップが求められていると言えよう。



(3) 新しい教育が目指すもの

学校週5日制時代を迎えて、学校では生涯学習の基礎となる力を育成することが期待されている。それに応えるには、知識を一方的に教え込むだけでなく、ゆとりの中で、自ら学び、自ら考える力と正義感・倫理観や思いやりの心など、生きる力の核となる豊かな感性や人間性を育む教育、更には個性を伸ばし、多様な選択を可能にする教育への転換を図る必要がある。

特に、特別活動では、集団活動を通して、好ましい人間関係を醸成したり、地域社会の人々との幅広い交流を重視している。また、総合的な学習でも、グループ学習や異年齢集団による学習など多様な学習形態をとるだけでなく、外部の人材の協力を得ることが考えられる。子どもは人とかかわりの中で、他者を鏡として自分自身を知ることにもなり、そのことは生徒文化の質を高めることにつながる。更に、特別活動と総合的な学習は、相互に有機的な関連性があり、教師文化の変容をも促しながら、新しい学校文化づくりの格好の場になるものと言えよう。

(4) 教師の意識改革と学校文化づくり

とかく、教師間には自分の領域や指導に干渉されたくないというような傾向がみられるが、もっと柔軟に、他の教科に学ぶ姿勢をもち、教科・領域間の連携を図る必要がある。互いに信頼し、教え合えるような学校体制をつくることも大事なことである。また、豊かな人間性を育むには、教師自身が人間性豊かでなくてはならないし、自己を高める努力をし続けなければならない。

特別活動と総合的な学習の在り方は、各学校の創意工夫を生かした新しい学校文化づくりの成否を左右するとも言える。いま、教師の意識改革が迫られているのである。

学校は心豊かな人間を育てる場である。そして、家庭は人間性の基礎を培う場であり、地域社会は人との触れ合いを深める場である。この学校、家庭、地域社会の役割を再認識し、地域社会へ働きかけ、連携を深めなければならない。地域に根ざした学校にするには、地域教育力を生かすとともに学校の人的・物的教育力を地域に還元する必要がある。そうすることによって、学校も地域社会も共に活性化し、そのような「開かれた学校」の創造によって、新しい学校文化も花開くのである。

◇ 吉野中学校では、地域の方々の協力を得ながら、体験活動を通して豊かな人間性を育んでおり、家庭・地域社会との連携のもとに学校文化づくりの面でも成果をあげている。

◇ 上山明新館高等学校では、子ども一人ひとりの在り方生き方を探求する学習に、教師の経験に基づく創意工夫を生かすなどして、学校全体で取り組んでおり、新しい学校文化の創造に努めている。

◇ 寒河江工業高等学校では、地域の行事への積極的な参加により、子どもの目的意識を高め、地域社会の理解と協力を得て、子どもに生き生きとした日常生活を送らせている。いずれも教師の意識改革と子ども主体の学校文化づくりの試みで、優れた実践である。

実践事例

◇ 生徒会活動活性化の手立て

—学級活動から生徒会活動へ—

尾花沢市立尾花沢中学校（生徒数 343 名）
尾花沢市大字尾花沢 3, 872（☎ 0237-22-0074）
校長 佐藤 俊 忠

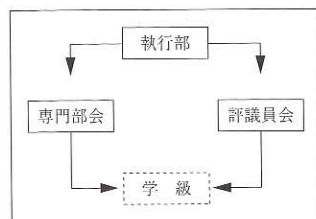
1 実践のねらい

本校では、「絆の強い学校にしよう～いきいき さわやか 尾中生～」をスローガンに掲げ、あいさつ活動や環境美化に力を入れて生徒会活動を行ってきた。整美部による朝の階段清掃や生活部によるあいさつ週番、緑化週番などがその一例である。どの活動もたいへん熱心に行われており、朝からさわやかな学校生活を送るのに役立っている。しかし、執行部や専門部の活動は活発に行われているものの、全校生徒への意識の広がりはまだ十分とはいえない。特に、生徒会執行部が運営する諸行事については、執行部が中心になって企画し、他の生徒はその企画に沿って活動するだけという場面をよく目にする。

そこで、一部の生徒の活躍を生徒全体の活動に広げるために、各学級から学校全体に具体的な実践目標の提案を行う「学級発信」活動を計画した。

2 こんな生徒会に

これまでの生徒会活動は、執行部や専門部長などが企画した内容を専門部員が学級に伝え、各学級が取り組むという活動がほとんどで、学級から学校全体に向けて具体的な提案をするという活動はほとんど見られなかった。



これまでの生徒会活動の意識

そのため、執行部員だけが活躍する生徒会という傾向があり、生徒会の構成員である全校生徒の意見や考えが反映される「生徒一人ひとりがつくる生徒会」という意識は低かった。そこで、学級や学年から全校に向けて具体的な目標を提案したり、取り組みの成果を発表したりする場を設けることで、全校生徒に活躍の輪を広げることができるのではないかと考えた。

3 こんな方法で

年度当初の学級会活動で、各学級が1年間重点的に取り組む目標とその具体的対策を話し合い、春の生徒総会で発表した。（資料1、2）次に、その達成状況を全学級が各学期に1回、朝会で全校生に報告した。更に、年度最後の生徒総会で、1年間の取り組みの総括を行った。

(1) 朝会での発表

全校朝会の中で、3年生の学級委員が下級生にさわやかなあいさつの手本を示して見せたり、学級発信の教室掲示の工夫例を発表したりした。

(2) 終わりの会の交流

合唱に熱心に取り組む3年生の様子を1年生に見学させ、一緒に歌ったり練習のポイントを指示するなどして、各学級の取り組みを他学年にも広げた。

(3) 空き教室の見学

空き教室の整理整頓に力を入れている学級は、空き教室の様子を見に来るように他の学級に呼びかけ、全校の手本としての環境美化に努めた。

(4) 「学級発信だより」の発行

学級委員長会が毎週1回「学級発信だより」を発行し、各学級の取り組みを全校生に報告しつつ、学級発信についての意識を高めた。

3年2組学級発信だより 第1号

私たちの3年2組の学級発信の現状はどうなっているのか。達成されているのか。そしてみなさんの学級はどうですか。私たちの学級の現状を写真で発表します。

3年2組の学級発信

「黙重、率先、はじめをきんとし、真剣に清掃しよう。」

現在の3年2組の実態

きちんとできている人もいれば、できていない人もいます。これが現状です。このままの状態では本当にいいのでしょうか。今までの学級発信を良くするための対策として次のようなものが私たちの学級の対策になっています。

学級発信を良くするための対策

時間いっぱい清掃をすい、丁寧に反省を発表しよう。というのが今までの私たちの3年2組の学級発信を良くするための対策です。

But!

これだけでは、達成されないようなので、今までの対策に加えて、次のような対策を考えました。

新しい対策

清掃場所を先生に決めてもらう。最後の反省発表の時に先生から意見をもらうという対策です。

新しいこの対策を考えた3年2組が、もっと清掃の向上が期待できることを願っています。（写真見一回）

対策を目標入れた3年2組の清掃の工夫

- ① 清掃開始のあいさつ。
- ② 清掃の分担を3人。
- ③ 黙重、率先、はじめをきんとし、真剣に清掃中。最後の方に1人だけ丁寧に掃除機をかける。
- ④ 反省発表を行う。
「反省」
・清掃中に汚れて反省をしよう。
・丁寧に反省をしよう。
・先生から意見をもらう。
・清掃終了のあいさつ。

3年2組の学級発信はどのようなものでしたか。3年2組はまだまだ前ほどいい清掃ができていないように見えます。これらの3年2組の清掃がもっといいものになり、そして3年2組から全校生にきちんとした清掃の工夫を学校に伝えていきます。

全校生へ

自分たちの学級の学級発信を覚えてもらいます。もう一度見直してみたいと思います。そして、尾花をきれいにしていきましょう。3年2組といえども素晴らしい清掃をしていきましょう。

（具体的対策の改善案が提案されており、学級発信に対する意識が深まってきた。）

(資料1) 平成10年度学級発信

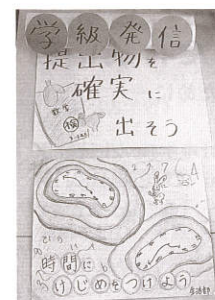
1-1	放課後の教室の整理整頓をきちんとしよう。	2-3	朝のあいさつ活動、お客様や地域の人々へのあいさつを活発にしよう。
1-2	自分から進んで元気のよいあいさつをしよう。	3-1	誰にでもさわやかなあいさつを心がけよう。
1-3	きちんとしたあいさつをし、宿題は忘れずに提出しよう。	3-2	提出物をしっかり出そう。
2-1	一人ひとりが大きな声で歌おう。	3-3	教室環境を整え、特に空き教室をきれいにしよう。
2-2	学級の係活動を活発にしよう。	3-4	大きな声で合唱し、積極的な挙手発言を心がけよう。

(※ 初年度はスローガンの学級発信が多く見られ、まだ具体的な対策は講じられていなかった。)

(資料2) 平成11年度学級発信

クラス	学 級 発 信	具 体 的 対 策
1-1	授業中の私語をなくそう。	一人ひとりが私語のないように心がけ、互いに注意し合う。日頃から先生方への言葉づかいに注意する。
1-2	授業の開始時間をしっかり守ろう。	時計を見て行動する。次の授業の準備を早めに行う。みんなで呼びかけ合う。
1-3	大きな声でさわやかなあいさつをしよう。	ポスターを制作し、一人ひとりが自覚する。学級委員が率先して大きな声を出す。
2-1	朝読書にきちんと取り組もう。	朝読書の開始時刻を守り、私語をなくす。
2-2	日直当番の仕事をきちんと行おう。	終わりの会での逆点検をしっかりと行う。
2-3	いつも合唱の響く教室をつくろう。	曜日ごとに早く学校に来る時間を決めて歌う。朝の会で必ず歌う。一人ひとりが大きな声を出す。
3-1	1年間無欠席を目標とし、健康に留意して生活しよう。生徒会行事に積極的に参加し、みんなで盛り上げよう。	保健部を中心にして、汗の始末、換気、規則正しい生活などの自己管理を心がける。何事にも好奇心をもち、協力して集団行動を行う。
3-2	黙動、率先、けじめをきちんとし、真剣に清掃を行おう。	時間いっぱい清掃を行い、班ごとに反省を発表する。
3-3	すべての提出物を確実に出そう。	学級委員や班長が率先して呼びかける。

(※ 学級発信がより具体的になった。この年から具体的な対策を設定し、学期ごとに達成状況を反省して、目標が十分に達成できていれば、より高い目標を新たに設定し、目標が達成されていない場合は、定例の学級委員会で情報交換を行い、対策を話し合った。)



ポスターによる意識づけ



清掃は自分をみがく

4 成果と問題

[成 果]

- (1) 生徒総会という公の場で、全クラスが学級発信と具体的対策を発表することにより、全校生一人ひとりが自分たちの学級の発言にプライドと責任をもてるようになった。そして、その目標を達成しようと努力することにより、学校全体に活気が出てきた。特に3年生の取り組みは、下級生にとってもよい模範となっている。例えば、3年生の空き教室を見学した後は、1年生の教室の整理整頓がよくなり、3年生の合唱練習の様子を見学した後は、2年生の合唱への取り組みが意欲的になり、歌声が全校に広がった。
- (2) 3年生にとっては、下級生の模範にならなければならないという意識が高まり、学校生活全般にわたってしまりのある行動が見られるようになった。1年生にとっては、中学校の生活規範を直接先輩の姿から学ぶことができ、中学生としての自覚が高まった。

[課 題]

- (1) 毎月1回開かれている評議員会を、より有効に活用すべきである。学級からの発信を取り入れることにより、校内生活を向上させていこうと企画しているのであるから、形式的なものではなく、各学級からの発信を受けての委員会活動を計画していかなければならない。
- (2) 毎週開かれている学級委員長会で、もっと互いの学級の問題点を積極的に出し合い、他の学級からよい点を学ぶという姿勢で、学級の活動を充実させていくことが必要である。
(文責 教諭 植松 敏)

校長からひとこと

なすことを通して、豊かな心を育みたいと考えている。そのために、生徒の「やる気(意欲)」を育てることが大切であると考え、生徒一人ひとりの存在が認められる場、自己決定する場を、生徒会活動・学級活動に求め、実践を促してきた。その具体例の一つが、「学級発信」による、日常活動の活性化である。明るく・美しい学校、楽しい学校の実現に大きく寄与しており、一層の充実を図りたい。

- ①日本鉱業[吉野鉱山]
 ●「緑ヶ丘」「希望ヶ丘」住宅
 ●映画館と吉野鉱山グラウンド
 ②吉野石膏
 ●酒町と吉野石膏
 ●タイガーボード吉野石膏
 ●荻小学校と吉野石膏文庫



学活の時間「吉野の不思議な所」「なぜこうなったのだろう」という疑問から吉野のことを学ぼうと講師を招いて学習しました。講師の川合 さんには吉野の発展や文化、各地区部落の名の由来などを教えて頂きました。2回の講座で学んだので、これからは郷土を新しい目で見たいと思います。

【吉野史跡巡り】 講師：山口 直蔵氏（吉野地区「宮の下」在住）

体験学習の一つで、これまで4回行った「郷土の学習」のまとめ的な意味がある。訪れた場所は事前にアンケートをとり、その結果をもとに講師の山口氏（吉野文化史研究会員）と話し合って決定。この学習は3年保護者の協力を得て「親子学年行事」として実施し、三十三観音、子安観音、吉野鉱山跡地（採掘跡地、日鉱会館）等を説明を聞きながら見学した。



僕は、史跡めぐりで一番見たい所は三十三観音でした。もともと道がいいと思っていたのがあまかった。とても滑り、土が泥に変わってとても滑った。斜面が最後になつくと「は」と言うくらい急な。他の場所とはそんなに急じゃなかった。史跡めぐりは、とても勉強になった。吉野にいたのになと思ったくらいにもわかっていなかった。

【そば打ち体験】 講師：沖田 勝男氏（吉野地区「東向」在住）

「第4回（調べ方学習）」の実習編として、源蔵そば4代目当主の沖田勝男氏を講師に迎え史跡巡りの後に実施。〔粉をお湯と水で溶いて練る⇒棒で伸ばす⇒粉を敷きながらたたき込みで切る⇒茹でる〕の各工程を全員が体験。出来たての自作そばは、風味が豊かで最高の味だった。

源蔵そばのそば打ちは過去1回、小学生とエッチャケと、なかなか難しくて上手にできなかった。特に難しかったのは、そばを切ることで太くしたり細くしたり、11.13.15.17.19.21.23.25.27.29.31.33.35.37.39.41.43.45.47.49.51.53.55.57.59.61.63.65.67.69.71.73.75.77.79.81.83.85.87.89.91.93.95.97.99.101.103.105.107.109.111.113.115.117.119.121.123.125.127.129.131.133.135.137.139.141.143.145.147.149.151.153.155.157.159.161.163.165.167.169.171.173.175.177.179.181.183.185.187.189.191.193.195.197.199.201.203.205.207.209.211.213.215.217.219.221.223.225.227.229.231.233.235.237.239.241.243.245.247.249.251.253.255.257.259.261.263.265.267.269.271.273.275.277.279.281.283.285.287.289.291.293.295.297.299.301.303.305.307.309.311.313.315.317.319.321.323.325.327.329.331.333.335.337.339.341.343.345.347.349.351.353.355.357.359.361.363.365.367.369.371.373.375.377.379.381.383.385.387.389.391.393.395.397.399.401.403.405.407.409.411.413.415.417.419.421.423.425.427.429.431.433.435.437.439.441.443.445.447.449.451.453.455.457.459.461.463.465.467.469.471.473.475.477.479.481.483.485.487.489.491.493.495.497.499.501.503.505.507.509.511.513.515.517.519.521.523.525.527.529.531.533.535.537.539.541.543.545.547.549.551.553.555.557.559.561.563.565.567.569.571.573.575.577.579.581.583.585.587.589.591.593.595.597.599.601.603.605.607.609.611.613.615.617.619.621.623.625.627.629.631.633.635.637.639.641.643.645.647.649.651.653.655.657.659.661.663.665.667.669.671.673.675.677.679.681.683.685.687.689.691.693.695.697.699.701.703.705.707.709.711.713.715.717.719.721.723.725.727.729.731.733.735.737.739.741.743.745.747.749.751.753.755.757.759.761.763.765.767.769.771.773.775.777.779.781.783.785.787.789.791.793.795.797.799.801.803.805.807.809.811.813.815.817.819.821.823.825.827.829.831.833.835.837.839.841.843.845.847.849.851.853.855.857.859.861.863.865.867.869.871.873.875.877.879.881.883.885.887.889.891.893.895.897.899.901.903.905.907.909.911.913.915.917.919.921.923.925.927.929.931.933.935.937.939.941.943.945.947.949.951.953.955.957.959.961.963.965.967.969.971.973.975.977.979.981.983.985.987.989.991.993.995.997.999.1001.1003.1005.1007.1009.1011.1013.1015.1017.1019.1021.1023.1025.1027.1029.1031.1033.1035.1037.1039.1041.1043.1045.1047.1049.1051.1053.1055.1057.1059.1061.1063.1065.1067.1069.1071.1073.1075.1077.1079.1081.1083.1085.1087.1089.1091.1093.1095.1097.1099.1101.1103.1105.1107.1109.1111.1113.1115.1117.1119.1121.1123.1125.1127.1129.1131.1133.1135.1137.1139.1141.1143.1145.1147.1149.1151.1153.1155.1157.1159.1161.1163.1165.1167.1169.1171.1173.1175.1177.1179.1181.1183.1185.1187.1189.1191.1193.1195.1197.1199.1201.1203.1205.1207.1209.1211.1213.1215.1217.1219.1221.1223.1225.1227.1229.1231.1233.1235.1237.1239.1241.1243.1245.1247.1249.1251.1253.1255.1257.1259.1261.1263.1265.1267.1269.1271.1273.1275.1277.1279.1281.1283.1285.1287.1289.1291.1293.1295.1297.1299.1301.1303.1305.1307.1309.1311.1313.1315.1317.1319.1321.1323.1325.1327.1329.1331.1333.1335.1337.1339.1341.1343.1345.1347.1349.1351.1353.1355.1357.1359.1361.1363.1365.1367.1369.1371.1373.1375.1377.1379.1381.1383.1385.1387.1389.1391.1393.1395.1397.1399.1401.1403.1405.1407.1409.1411.1413.1415.1417.1419.1421.1423.1425.1427.1429.1431.1433.1435.1437.1439.1441.1443.1445.1447.1449.1451.1453.1455.1457.1459.1461.1463.1465.1467.1469.1471.1473.1475.1477.1479.1481.1483.1485.1487.1489.1491.1493.1495.1497.1499.1501.1503.1505.1507.1509.1511.1513.1515.1517.1519.1521.1523.1525.1527.1529.1531.1533.1535.1537.1539.1541.1543.1545.1547.1549.1551.1553.1555.1557.1559.1561.1563.1565.1567.1569.1571.1573.1575.1577.1579.1581.1583.1585.1587.1589.1591.1593.1595.1597.1599.1601.1603.1605.1607.1609.1611.1613.1615.1617.1619.1621.1623.1625.1627.1629.1631.1633.1635.1637.1639.1641.1643.1645.1647.1649.1651.1653.1655.1657.1659.1661.1663.1665.1667.1669.1671.1673.1675.1677.1679.1681.1683.1685.1687.1689.1691.1693.1695.1697.1699.1701.1703.1705.1707.1709.1711.1713.1715.1717.1719.1721.1723.1725.1727.1729.1731.1733.1735.1737.1739.1741.1743.1745.1747.1749.1751.1753.1755.1757.1759.1761.1763.1765.1767.1769.1771.1773.1775.1777.1779.1781.1783.1785.1787.1789.1791.1793.1795.1797.1799.1801.1803.1805.1807.1809.1811.1813.1815.1817.1819.1821.1823.1825.1827.1829.1831.1833.1835.1837.1839.1841.1843.1845.1847.1849.1851.1853.1855.1857.1859.1861.1863.1865.1867.1869.1871.1873.1875.1877.1879.1881.1883.1885.1887.1889.1891.1893.1895.1897.1899.1901.1903.1905.1907.1909.1911.1913.1915.1917.1919.1921.1923.1925.1927.1929.1931.1933.1935.1937.1939.1941.1943.1945.1947.1949.1951.1953.1955.1957.1959.1961.1963.1965.1967.1969.1971.1973.1975.1977.1979.1981.1983.1985.1987.1989.1991.1993.1995.1997.1999.2001.2003.2005.2007.2009.2011.2013.2015.2017.2019.2021.2023.2025.2027.2029.2031.2033.2035.2037.2039.2041.2043.2045.2047.2049.2051.2053.2055.2057.2059.2061.2063.2065.2067.2069.2071.2073.2075.2077.2079.2081.2083.2085.2087.2089.2091.2093.2095.2097.2099.2101.2103.2105.2107.2109.2111.2113.2115.2117.2119.2121.2123.2125.2127.2129.2131.2133.2135.2137.2139.2141.2143.2145.2147.2149.2151.2153.2155.2157.2159.2161.2163.2165.2167.2169.2171.2173.2175.2177.2179.2181.2183.2185.2187.2189.2191.2193.2195.2197.2199.2201.2203.2205.2207.2209.2211.2213.2215.2217.2219.2221.2223.2225.2227.2229.2231.2233.2235.2237.2239.2241.2243.2245.2247.2249.2251.2253.2255.2257.2259.2261.2263.2265.2267.2269.2271.2273.2275.2277.2279.2281.2283.2285.2287.2289.2291.2293.2295.2297.2299.2301.2303.2305.2307.2309.2311.2313.2315.2317.2319.2321.2323.2325.2327.2329.2331.2333.2335.2337.2339.2341.2343.2345.2347.2349.2351.2353.2355.2357.2359.2361.2363.2365.2367.2369.2371.2373.2375.2377.2379.2381.2383.2385.2387.2389.2391.2393.2395.2397.2399.2401.2403.2405.2407.2409.2411.2413.2415.2417.2419.2421.2423.2425.2427.2429.2431.2433.2435.2437.2439.2441.2443.2445.2447.2449.2451.2453.2455.2457.2459.2461.2463.2465.2467.2469.2471.2473.2475.2477.2479.2481.2483.2485.2487.2489.2491.2493.2495.2497.2499.2501.2503.2505.2507.2509.2511.2513.2515.2517.2519.2521.2523.2525.2527.2529.2531.2533.2535.2537.2539.2541.2543.2545.2547.2549.2551.2553.2555.2557.2559.2561.2563.2565.2567.2569.2571.2573.2575.2577.2579.2581.2583.2585.2587.2589.2591.2593.2595.2597.2599.2601.2603.2605.2607.2609.2611.2613.2615.2617.2619.2621.2623.2625.2627.2629.2631.2633.2635.2637.2639.2641.2643.2645.2647.2649.2651.2653.2655.2657.2659.2661.2663.2665.2667.2669.2671.2673.2675.2677.2679.2681.2683.2685.2687.2689.2691.2693.2695.2697.2699.2701.2703.2705.2707.2709.2711.2713.2715.2717.2719.2721.2723.2725.2727.2729.2731.2733.2735.2737.2739.2741.2743.2745.2747.2749.2751.2753.2755.2757.2759.2761.2763.2765.2767.2769.2771.2773.2775.2777.2779.2781.2783.2785.2787.2789.2791.2793.2795.2797.2799.2801.2803.2805.2807.2809.2811.2813.2815.2817.2819.2821.2823.2825.2827.2829.2831.2833.2835.2837.2839.2841.2843.2845.2847.2849.2851.2853.2855.2857.2859.2861.2863.2865.2867.2869.2871.2873.2875.2877.2879.2881.2883.2885.2887.2889.2891.2893.2895.2897.2899.2901.2903.2905.2907.2909.2911.2913.2915.2917.2919.2921.2923.2925.2927.2929.2931.2933.2935.2937.2939.2941.2943.2945.2947.2949.2951.2953.2955.2957.2959.2961.2963.2965.2967.2969.2971.2973.2975.2977.2979.2981.2983.2985.2987.2989.2991.2993.2995.2997.2999.3001.3003.3005.3007.3009.3011.3013.3015.3017.3019.3021.3023.3025.3027.3029.3031.3033.3035.3037.3039.3041.3043.3045.3047.3049.3051.3053.3055.3057.3059.3061.3063.3065.3067.3069.3071.3073.3075.3077.3079.3081.3083.3085.3087.3089.3091.3093.3095.3097.3099.3101.3103.3105.3107.3109.3111.3113.3115.3117.3119.3121.3123.3125.3127.3129.3131.3133.3135.3137.3139.3141.3143.3145.3147.3149.3151.3153.3155.3157.3159.3161.3163.3165.3167.3169.3171.3173.3175.3177.3179.3181.3183.3185.3187.3189.3191.3193.3195.3197.3199.3201.3203.3205.3207.3209.3211.3213.3215.3217.3219.3221.3223.3225.3227.3229.3231.3233.3235.3237.3239.3241.3243.3245.3247.3249.3251.3253.3255.3257.3259.3261.3263.3265.3267.3269.3271.3273.3275.3277.3279.3281.3283.3285.3287.3289.3291.3293.3295.3297.3299.3301.3303.3305.3307.3309.3311.3313.3315.3317.3319.3321.3323.3325.3327.3329.3331.3333.3335.3337.3339.3341.3343.3345.3347.3349.3351.3353.3355.3357.3359.3361.3363.3365.3367.3369.3371.3373.3375.3377.3379.3381.3383.3385.3387.3389.3391.3393.3395.3397.3399.3401.3403.3405.3407.3409.3411.3413.3415.3417.3419.3421.3423.3425.3427.3429.3431.3433.3435.3437.3439.3441.3443.3445.3447.3449.3451.3453.3455.3457.3459.3461.3463.3465.3467.3469.3471.3473.3475.3477.3479.3481.3483.3485.3487.3489.3491.3493.3495.3497.3499.3501.3503.3505.3507.3509.3511.3513.3515.3517.3519.3521.3523.3525.3527.3529.3531.3533.3535.3537.3539.3541.3543.3545.3547.3549.3551.3553.3555.3557.3559.3561.3563.3565.3567.3569.3571.3573.3575.3577.3579.3581.3583.3585.3587.3589.3591.3593.3595.3597.3599.3601.3603.3605.3607.3609.3611.3613.3615.3617.3619.3621.3623.3625.3627.3629.3631.3633.3635.3637.3639.3641.3643.3645.3647.3649.3651.3653.3655.3657.3659.3661.3663.3665.3667.3669.3671.3673.3675.3677.3679.3681.3683.3685.3687.3689.3691.3693.3695.3697.3699.3701.3703.3705.3707.3709.3711.3713.3715.3717.3719.3721.3723.3725.3727.3729.3731.3733.3735.3737.3739.3741.3743.3745.3747.3749.3751.3753.3755.3757.3759.3761.3763.3765.3767.3769.3771.3773.3775.3777.3779.3781.3783.3785.3787.3789.3791.3793.3795.3797.3799.3801.3803.3805.3807.3809.3811.3813.3815.3817.3819.3821.3823.3825.3827.3829.3831.3833.3835.3837.3839.3841.3843.3845.3847.3849.3851.3853.3855.3857.3859.3861.3863.3865.3867.3869.3871.3873.3875.3877.3879.3881.3883.3885.3887.3889.3891.3893.3895.3897.3899.3901.3903.3905.3907.3909.3911.3913.3915.3917.3919.3921.3923.3925.3927.3929.3931.3933.3935.3937.3939.3941.3943.3945.3947.3949.3951.3953.3955.3957.3959.3961.3963.3965.3967.3969.3971.3973.3975.3977.3979.3981.3983.3985.3987.3989.3991.3993.3995.3997.3999.4001.4003.4005.4007.4009.4011.4013.4015.4017.4019.4021.4023.4025.4027.4029.4031.4033.4035.4037.4039.4041.4043.4045.4047.4049.4051.4053.4055.4057.4059.4061.4063.4065.4067.4069.4071.4073.4075.4077.4079.4081.4083.4085.4087.4089.4091.4093.4095.4097.4099.4101.4103.4105.4107.4109.4111.4113.4115.4117.4119.4121.4123.4125.4127.4129.4131.4133.4135.4137.4139.4141.4143.4145.4147.4149.4151.4153.4155.4157.4159.4161.4163.4165.4167.4169.4171.4173.4175.4177.4179.4181.4183.4185.4187.4189.4191.4193.4195.4197.4199.4201.4203.4205.4207.4209.4211.4213.4215.4217.4219.4221.4223.4225.4227.4229.4231.4233.4235.4237.4239.4241.4243.4245.4247.4249.4251.4253.4255.4257.4259.4261.4263.4265.4267.4269.4271.4273.4275.4277.4279.4281.4283.4285.4287.4289.4291.4293.4295.4297.4299.4301.4303.4305.4307.4309.4311.4313.4315.4317.4319.4321.4323.4325.4327.4329.4331.4333.4335.4337.4339.4341.4343.4345.4347.4349.4351.4353.4355.4357.4359.4361.4363.4365.4367.4369.4371.4373.4375.4377.4379.4381.4383.4385.4387.4389.4391.4393.4395.4397.4399.4401.4403.4405.4407.4409.4411.4413.4415.4417.4419.4421.4423.4425.4427.4429.4431.4433.4435.4437.4439.4441.4443.4445.4447.4449.4451.4453.4455.4457.4459.4461.4463.4465.4467.4469.4471.4473.4475.4477.4479.4481.4483.4485.4487.4489.4491.4493.4495.4497.4499.4501.4503.4505.4507.4509.4511.4513.4515.4517.4519.4521.4523.4525.4527.4529.4531.4533.4535.4537.4539.4541.4543.4545.4547.4549.4551.4553.4555.4557.4559.4561.4563.4565.4567.4569.4571.4573.4575.4577.4579.4581.4583.4585.4587.4589.4591.4593.4595.4597.4599.4601.4603.4605.4607.4609.4611.4613.4615.4617.4619.4621.4623.4625.4627.4629.4631.4633.4635.4637.4639.4641.4643.4645.4647.4649.4651.4653.4655.4657.4659.4661.4663.4665.4667.4669.4671.4673.4675.4677.4679.4681.4683.4685.4687.4689.4691.4693.4695.4697.4699.4701.4703.4705.4707.4709.4711.4713.4715.4717.4719.4721.4723.4725.4727.4729.4731.4733.4735.4737.4739.4741.4743.4745.4747.4749.4751.4753.4755.4757.4759.4761.4763.4765.4767.4769.4771.4773.4775.4777.4779.4781.4783.4785.4787.4789.4791

◇ 道徳教育と特別活動のクロスカリキュラム

—「総合的な学習の時間」への試み—

酒田市立第六中学校（生徒数 478 名）
酒田市下安町 13-1（☎ 0234-22-0666）
校長 石川 晴 朗

1 わたしたちの願い

〈心のよりどころをいっばいもたせたい〉

今日のような物質的繁栄は、人々の生活を便利にし、一見幸福をもたらしたかのように見えるが、反面、他を思いやる心、感謝する心、感動する心など、内面にかかわる心の貧しさが憂慮されるようになってきた。そのような社会に置かれた子どもたちは、空間的、時間的な圧迫、加えて多様な価値観が混在する中に置かれ、ともすれば心のよりどころを失い、精神的に自立することができず、不安感を抱いて本来の自分を見失いがちである。

このような状況において、調和のとれた発達をとげ、自ら考え判断し、主体的に行動できる人間に育つことが子どもたちの幸せにつながってくる。これからの社会で生き抜く子どもたちの願いに応え、豊かな心をもち、たくましく生きる人間を育成していくことが、今学校に求められている課題である。

〈酒田六中の誇り〉

本校では、学校教育目標の中で具体的に育てる心として、「六つの心」（「学ぶ心」、「思いやる心」、「耐える心」、「素直な心」、「奉仕の心」、「感謝の心」）を掲げている。「豊かな心」をより具体的に育む窓口として、六つの心の中から特に、「素直な心（感動する心）」、「思いやる心」、「奉仕の心」、「感謝の心」の四つの心の育成について重点的に取り組むことにした。

〈豊かな道徳性を養いたい〉

本校の生徒は、明るく素直であり、与えられたことに一生懸命取り組む。生徒会や学年協議会を中心としながら、各種行事、ボランティア活動、啓発的体験活動などに主体的に取り組んできた。今後は一歩推し進めて、内面での充実を図り、自発的な取り組みを支援し、更によいものを追求しようとする豊かな道徳性を養いたいと考えている。

以上の状況から、様々な体験を「総合的な学習の時間」を視野に入れながら、教育活動全体を通して豊かな心を育み、主体的に生きる生徒の育成を目指し、本主題を設定した。

2 手がかり

- (1) 道徳の時間の充実を図ることにより、生徒に人間としての生き方に対する深い理解と道徳的実践力が育まれるであろう。
- (2) 道徳の時間と各種体験活動を有機的に関連づけ、系統的に指導することにより、より深く物事を考え、共感する姿勢や主体的に生きる姿勢が身につくであろう。

3 「集団の和、向上を通して」

豊かな心、生きる力を育むためのクロスカリキュラム例（2 年）

月	道 徳	学校（学年）行事	特 別 活 動 ・ 教 科	地域との連携
4	1-(3) 自主自律 1-(1) 望ましい生活習慣	●対面式歓迎合唱 学年レクリエーション （口和山遠足）	●合唱練習（学年集会） ●レクリエーションの目的、意義の確認（学年集会） ●各係の役割分担（実行委員会） ●班、係決め、約束の話し合い（学級活動） ●専門委員、学級組織の決定（学級活動）	
5	2-(2) 思いやり 4-(3) 共に生きる	●酒田舞学校との交流 ●生徒総会	●舞学校生歓迎会（学級活動） ●舞学校生を迎えるの感想（終学活）	●舞学校生 米校
6	4-(6) 学校の一員として 2-(3) 真の友情		●運動会の意義、見直し（全校集会） ●運動会幹部の決定（学級）	
7		●運動会幹事部会	●選手決め、応援計画（学級活動） ●団結・集団の和の重要性（心の日） ●応援、種目練習（学級活動）	
8	2-(4) 男女の理解	第 15 回学級対抗運動会	●応援、種目練習（学級活動）	●運動会への P T A の 支援
9	2-(5) 個性や立場の尊重 1-(2) 強い意志	●耐久レース ●合唱を創る月間開始	●耐久レースの意義、心構え（終学活） ●合唱コンクールの意義、心構え 指導者、伴奏者、パートリーダーの決定 （学級活動） ●コンクールまでの計画作成（学級活動） ●意欲づけの広報の発行【生徒会】	●外部指導者 からの 合唱指導開始 ●キーボード 等の借用
10	4-(1) 集団生活の向上 2-(3) 真の友情 1-(3) 自主性	●学年中間発表会 合唱コンクール	●発表順の抽選会（生徒集会） ●コンクールの運営の検討【生徒会】 ●美しい合唱を創るために（心の口） ●練習を振り返って問題点の話し合い （学級活動） ●合唱を終えての感想、反省（終学活）	●保護者、地 域の人々、 舞学校生の 参観
11	2-(2) 人間愛	●生徒会役員選挙	●専門委員、学級組織の再編成（学級指導）	
12	2-(1) 礼儀の心		●修学旅行の意義と見直し（学年集会）	
1			●修学旅行組織づくり、スローガンの検討 （修学旅行実行委員会） ●訪問先、班、班の係分担当決定（学級活動） ●依頼状の作成（学級活動）	
2	4-(1) 集団生活の向上 4-(3) 社会連帯		●学級別、班別行動の検討（学級活動） ●約束、マナーの検討（実行委員会）	●修学旅行説明 （学年総会）
3	2-(2) 人間愛 2-(5) 謙虚・広い心	●球技大会	●しおり作り（実行委員会） ●修学旅行詳細の確認（学年集会）	
4		修学旅行・職場訪問		

4 「体験を通して」

豊かな心、生きる力を育むためのクロスカリキュラム例（2年）

月	道 徳	学校（学年）行事	特 別 活 動 ・ 教 科	地域との連携
4	1-(5) 充実した生き方 3-(1) 自然愛		「遠くでっかい世界」(国語) - みどりの羽根の意義 (終学活)	
5	2-(2) 思いやり 4-(3) 共に生きる 4-(4) 勤労の心・奉仕	- JRC加盟式 - 酒田聾学校との交流 - 全校ボランティア活動	- JRCの意義、歴史 (学級活動) - 聴覚障害者への理解 (学級活動) - ボランティアの意味 (心の日) - 具体的活動内容の検討 (学級活動) - ボランティアの感想 (終学活)	訪問先の協力 サンシティ デイサービスセン シュ・モア 明日葉
6	2-(5) 自己を省みる 4-(7) 郷土愛	地区運動会	地域の一員としての参加の在り方 (集会)	
7				職場体験の 受入先決定 (育成部)
8			- 職場体験の意義と見直し (学年集会) - フォスタープログラムについて (英語)	
9	1-(2) 強い意志	耐久レース	- 組織づくり、スローガンの検討 (職場体験実行委員会) - 訪問先、班、班の係分決定 (学級活動) - 約束、マナーの検討 (実行委員会) - 依頼状の作成 (学級活動)	職場への 事前訪問 [詳細の確認]
10	3-(3) 生きる喜び 4-(4) 勤労の心・奉仕 1-(4) 理想の実現	職場体験発表会	- 職場体験のまとめ (学級活動) - お礼状の作成 (学級活動) - 職場体験発表会の準備 (学級活動)	- 学年研修会 - 保護者の 参観
11				
12	4-(5) 家庭愛 2-(1) 礼儀の心		- 調理実習 (家庭科) - 家事の分担 (英語) - 修学旅行の意義と見直し (学年集会)	
1			「北の国から」(国語) - 組織づくり、スローガンの検討 (修学旅行実行委員会) - 訪問先、班、班の係分決定 (学級活動) - 依頼状の作成 (学級活動)	
2	4-(2) 遵法の手 4-(1) 集団生活の向上 4-(3) 社会連帯		- 学級別、班別行動の検討 (学級活動) - 約束、マナーの検討 (実行委員会)	修学旅行 の説明 (学年総会)
3			- しおり作り (実行委員会) - 修学旅行詳細の確認 (学年集会) 「アジアの働く子供たち」(国語)	
4		修学旅行・職場訪問		

5 成果と課題

成果1 大切な何かに気づき始めた子どもたち

- (1) 各活動へ取り組む態度に誠実さが感じられるようになった。
- (2) 活動を通して、他を尊重する、他の存在を素直に認めるという姿勢が育ってきつつある。
- (3) リーダーをはじめ、より多くの生徒に行事や活動を通して成長していく姿が見られるようになった。
- (4) ボランティアの意義を理解し、自主的な活動を行う生徒が着実に増えてきている。
- (5) 道徳の授業での生徒の発言の中に、以前学習した考えを踏まえた意見が出たり、日常生活の中でも、道徳の時間に学習したことが意識の中にあると感じられる言動が見える。

成果2 学び合い考え合ったわたしたち

- (1) 「心を育てる」という大きな観点から諸活動を見ることができるようになった。併せて一つ一つの活動を大切に扱おうとする姿勢が強まってきた。
- (2) すべての行事の目的やねらいを見直し、道徳の価値項目との関連を明確にしたことによって、それぞれの行事で育てたいことがはっきりした。
- (3) 道徳に限らず、クロスカリキュラムに基づいた学級活動を授業研究で取り上げたことにより、指導がより計画的かつ綿密になり、生徒に主体的に取り組む姿勢をつくれたのではないかな。
- (4) クロスカリキュラムの実践に手がけたことは、「総合的な学習の時間」につながる実践であった。

課 題 地道な継続を目指して

- (1) 生徒の心の中に自らの価値観を育むために、一層道徳の授業の充実を図る。
- (2) 日常的な面（あいさつ、清掃、言葉づかいなど）での心構え、心づかいを一層大切に指導し、生きる力を育てていく必要がある。
- (3) 他律から自律に向かう中学生と生活を共にしていることから、生活者としてのモデルであるという意識や同じ人間として共に考える姿勢をもち続ける。
- (4) クロスカリキュラムは学年ごとに編成されているが、3年間の見通しをもって生徒を育てることを念頭に置いて、学年対応に終わらないように学校全体の動きを見ながら実践していく必要がある。
- (5) 今後は、「総合的な学習の時間」の中でクロスカリキュラム的な実践を組み入れていく。
- (6) これまでの研究の成果・課題を次年度以降の職員、生徒にスムーズに引き継ぎ、更に魅力ある教育活動を継続的、かつ発展的に推進していく。

(文責 教諭 那須 俊行)

校長からひとこと

総合的な学習を本当に実りあるものにするには、各教育活動をいかにクロスさせるかがポイントになる。そして、生徒一人ひとりの確かな成長には、教師の常に豊かな心の醸成を根幹においた支援・指導が最も大切である。

◇ 新しい学校文化づくりのためのホームルーム活動

山形県立上山明新館高等学校(生徒数1,185名)

上市市仙石 650 (☎ 023-672-1600)

校長 兼 子 正 克

1 本校の概要

21世紀の社会を展望した新高校として、県立上山農業高等学校と県立上山高等学校を母体とし平成5年4月に誕生。普通科・園芸工学科・食品科学科・情報経営科の4学科からなる。

(1) 本校教育の特色 ～未来を見つめ、個性を伸ばし、たくましく～

- ① ゆきとどいた進路指導……学科の特色を生かした進学・就職指導
- ② 実践的な外国語教育……ALT(外国人講師)・LL活用
- ③ 新時代の農業に対応する教育…バイオテクノロジー、バイオリアクター等の活用
- ④ 充実したコンピュータ教育……経営管理情報の活用能力とビジネスに必要な知識や技術
- ⑤ 活発な部活動の推進……個性の伸長とチャレンジ精神を身につけた人間形成
- ⑥ 徹底した資格取得指導……情報処理、ワープロ、危険物取扱者、ボイラー技師など

(2) 地域社会との関係 ～自信・誇り・自分自身の新たな発見の機会～

- ① 市の諸行事への参加や補助役員としての協力・支援

(かごかし駅伝、全国かかし祭り、スポレクやまがた'99健康マラソン・インディアカ、蔵王坊平国際クロスカントリーなど)

- ② 上山警察署の交通事故防止キャンペーン等への参加と事故防止活動

(平成11年度交通安全県民大会で、県警察本部長・県交通安全協会会長連名で表彰された。)

- ③ JRC(青少年赤十字)による福祉施設の定期的な訪問や『上山市福祉マップ』の作成など

(平成9年度に愛の鳩賞(山形新聞社)、国際ソロプチミスト青年市民賞を受賞)



全国かかし祭り

2 ホームルーム活動を通して学校文化づくりへ

(1) ホームルーム活動に学校全体で取り組む

各分掌課でできる役割

- ① 合同ホームルームの計画(例:保健講話、進路講演会)
- ② 生徒に取り組ませたい題材・テーマ及び関連資料の提供(題材については例参照)

例:生徒指導課からの題材(一部抜粋)

テ ー マ	内 容	
忍耐力を培おう	討 論	誰にでもある弱点をどう克服しようとするか 生きる力となるのは
幸福な生き方	資料と討論	人生とは何か、幸福とは何か 望ましい人生観
自由と責任	討 論	自由には責任が伴う それを日常生活の中で生かしているか
レクリエーション・スポーツ		企画力や協調性を育てる お互いの理解を深める

例:保健課からの題材(一部抜粋)

テ ー マ	内 容	
ボランティア	ビデオ教材	①いのちのボランティア骨髄移植 ②若い生命の贈りもの(献血)
エイズ 正しい理解のために	ビデオ& パンフレット	エイズはいま～その教育のために
心の健康を考える	ビデオ教材	あなたの心元気ですか～高校生の心の健康を考える
さようなら中絶	スライド教材	命の性の教育

例:進路指導課からの題材(一部抜粋)

(ねらい)1年次から3年間を見通して、進路学習を計画的に実施し、生徒の自己理解と進路意識を高める。

テ ー マ	内 容	
職業の意味	担任講義& 生徒の討論	自己の人生や社会的意義 勤労観・職業観の育成 (1年)
自己の進路を考える	アンケート 作文・討論	進路目標・計画・心構え 将来の人生設計 (1年)
先輩達の努力	講義・作文 その他	卒業生の経験談・教訓など (2年)
よき職業人となるために	作文・討論	今やっておくこと (3年)

(2) 各ホームルーム・学年の活動計画例

第1学年の例(抜粋)

- ① 合同ホームルーム 進路ガイダンス、進路講演会、保健講話など
- ② 統一テーマ 生徒総会議案書クラス討議、学校祭クラス企画づくりなど
- ③ クラスごとの活動テーマ(抜粋)

普通科(3組)		園芸工学科(7組)		情報経営科(10組)	
月日	内 容	月日	内 容	月日	内 容
6/2	自分を知る	6/2	健康について考える	6/2	自分を見つめる
7/7	環境について考える	11/10	進路について考える Part1(なぜ職に就く?)	6/9	家庭学習の充実と学習 環境づくり
10/6	将来を考えよう (進路学習)	11/17	進路について考える Part2(なぜ進学する?)	10/20	進路計画の見直し① (検討と修正)
12/8	ディベート「クラスの 団結について」	11/24	自分の生き方について 考える	11/10	職業を知る
12/15	グループワークトレーニング	12/8	文学に親しむ	12/8	職業と適性
1/19	先輩からのメッセージ	2/16	社会について考える	1/19	上級学校を知る

(3) 活動の事例

テーマ「自分を知る」 指導者：佐藤 吉教諭 指導ホームルーム：1年3組

指導案 目標 自分を振り返って考えてみる。自分の特性・個性を知る。

	*学習活動 ○発問・指示	●指導上の留意点 ○評価 ◇支援
導入	*2, 3人のカードを表示して、だれのものかあててみる。 ○どのカードが誰のものか当ててみてください。	●あらかじめカードの表を記入しておく。 ●カードに記入したものを読んでおき誰がどんな悩みをもっているのかを知っておく。 (表) わたしの性格 わたしの悩みごと 誇りにしていること (裏) ○○さんをみてどう思いますか。Aさん、Bさん、Cさんになって○○さんにアドバイスをしましょう。
展開	●今、みんなのカードをランダムに渡しますのでそれぞれの項目についてAさんになって記入してください。 *全員がAさんになってカードの裏に記入する。 ○記入し終わったら裏返しに集めてきなさい。 ●つぎに渡されたカードにBさんになって記入してください。 *全員がBさんになってカードへ記入する。 ●記入し終わったら裏返しに集めてきなさい。 ○全員がCさんになってカードへ記入する。 *全員がCさんになってカードへ記入する。 ●記入し終わったら裏返しに集めてきなさい。	●カードを配布しそれぞれの欄に記入させるとき、同じ人に渡らないように列を考えて配布する。 ◇カードの持ち主の性格などをよく知らないときでもアドバイスができるように机間指導をする。 ◎それぞれのカードの持ち主にうまくアドバイスできたか。
まとめ	*全員自分のカードを戻してもらい他の人のアドバイスなどを見て感想を書く。 *1通の手紙(前の生徒からもらったもの)をBGMを流しながら読む。	●自分のカードに記載されたことを読み、うまく客観的に自分の行動を考えられるようアドバイスをする。 ◎各自、悩んでいることに対してはよきアドバイスで楽な気持ちになり、自分の見えない部分に対して客観的に考えることができたか。

(4) 生徒たちの成長

高校生になって生徒はどう成長したのだろうか。2学期に生徒に対して行った意識調査によると、1年生では、「よく考えて行動できるようになった」、「行動がより積極的になった」、「周りの人に対して気配りができるようになった」という声が聞かれる。また、「より自信をもつようになった」生徒は、「自分の新たな能力を見つけた」、「周りの人に対して気配りができるようになった」と答えている。更に、「自分の新たな能力を見つけた」

生徒は、高い率で「周りの人に対して気配りができるようになった」ようだ。

2年生の場合は、「やる気が出てきた」、「進路目標がより明確になった」、「よく考えて行動できるようになった」、「世の中の不正に怒りを覚えるようになった」、「周りの人に対して気配りができるようになった」という声が聞かれ、学年が進むにつれ、少しずつではあるが成長して行く姿がうかがえる。また、「進路目標がより明確になった」ことから「やる気が出てきた」し、「自分の新たな能力を見つけた」ことにより、「やる気が出てきた」、「行動がより積極的になった」、「周りの人に対して気配りができるようになった」と答えている。更に、「行動がより積極的になった」生徒は、ほとんどが「進路目標がより明確になった」と答えている。

以上のことから、自分の新たな力を発見し自分の生き方を見出していくとき、より積極的に学業に向かい人間として成長していく生徒たちの様子を見ることが出来る。このようなホームルーム活動を、全校的に展開することにより、生徒たちが「生きる意味と目的」を自らに問いかけながら更に高めようとする意欲が育つようになる。

3 ホームルーム活動への期待



生徒総会

生徒が高校生活に馴染み、将来に向けて自分の生き方を見出していくため重要な役割を果たしているホームルーム活動は、教師が、自らの経験に基づくなど創意工夫を多面的に活かして、人間としての在り方生き方について訴えかけられる活動である。教師自らがよきモデルになるよう心がけるとともに、生徒の思いを生かせる場をつくったり、生徒に企画運営させたりすることで、生徒は更に新たな自分を見出すのではないだろうか。体験を通して新たな発

想や創意が生まれ、そのことが、生徒たちの自信や誇りにつながっていくに違いない。本校では開校以来一貫して、時代の進展を視野に入れ「未来を見つめ、個性を伸ばし、たくましく生きる人間の育成」を目指して日々の教育実践を積み重ねている。そして、生徒の個性や豊かな人間性などを育む重要な場としてこのホームルーム活動をとらえている。このような実践の中から、自己の存在感を確かめ、自分を生かす道を求めながら生きるたくましい生徒の姿が見られるなど、本校の新しい学校文化がつけられつつある。

(文責 教諭 板垣 敏之)

校長からひとこと

開校して7年が経過した。これまで知・徳・体の調和のとれた人間の育成を目指すとともに、校風づくりにも取り組みながら、教職員が力を合わせて日々努力している。それぞれの目標に向かって意欲的に励む生徒とそのサポートに努力する教師、この姿勢が本校の未来を拓いていくものと考えている。

◇ 地域社会へ貢献する特別活動

—地域に根ざしたたくましい人間の育成—

山形県立寒河江工業高等学校(生徒数 564 名)

寒河江市緑町 148 (☎ 0237-86-4278)

校長 影山 圭 佑

1 実践のねらい

＝地域社会に役に立つ高校づくりと地域に根ざしたたくましい人間の育成＝

交通機関の高度なネットワークやインターネット等情報化社会の出現により地域社会とは非共存的な家庭が出現し、高校は地域の拠点性を失い、子どもたちは消費・情報社会の中に個性を埋没させ、非社会的な傾向を示している。

こうした状況の中で、地域に根ざした活動を取り入れることにより、社会との接点を持ち、自分が住んでいる地域を再発見し、ノスタルジアではなく真に郷土を愛し、自分のもっている能力(工業技術等)や個性を地域社会の中で発揮し、生き生きとたくましく生きる人間の育成を図ることができる。

2 実践内容

本校では、地域に根ざした工業高校とは、地域に役に立つ学校づくりでなければならないと認識し、従前から実践してきた地区PTAにおけるボランティア奉仕活動や学校・企業・民間(町内会)が一体となった交通安全推進運動(称して若草のみち)などを基盤にしながら、もっと地域の文化や行事等と密着し、地についた学校づくりを進めることが、今後の工業高校の一層の発展につながるものと考えた。そのためには、専門高校としての特色を活かした地域連携推進事業を積極的に展開し、地域に開かれた工業高校にすることが重要である。

3 具体的実践例

(1) ハイテク技術を駆使した「みこし」を製作し、寒河江祭り「神輿の祭典」への参加

《HIMプロジェクト(HIM:Hi-Tech Intelligent MIKOSHI)》

ア 実践目標

＊地域行事へ参加しよう

地域社会の一員であることを自覚し、郷土を愛し地域に根ざす若者を育成する。

＊専門技術を生かそう

物づくりを通して、実践的な感性・創造性を育み、勤労意欲と職業観をもたせる。

イ 実行体制

① 全職員の協力体制で指導助言



HIM製作は情報技術科が中核となり機械・土木科の技術も加わり3科の協力体制で実行。

② 校務分掌に「神輿の祭典」を設置

学校全体としての取り組みを推進するために各科、分掌、学年からの推薦による委員会組織をつくり、また生徒指導課を中心に「事務局」を設置しての参加体制づくりを行い、組織的な運営を行った。

③ 生徒会活動の一環として実施

生徒会の中に「渡御部」を組織し、15名のリーダーが「みこし渡御」の責任をもつとともに、地元の神輿会の練習にも参加し、担ぎ方の指導を受け、約120人の生徒の担ぎの練習をリードした。

④ 生徒会の組織として、「コミュニティ推進委員」を各クラスから選出し、神輿祭りへの主体的な取り組みをしていった。

⑤ みこし担ぎの練習は、地元神輿会「陵友陸会」の15名程度の指導を得て実施したが、「ハイテクみこし」を担いだ本校の先輩3名も、毎日学校に来て指導してくれた。

⑥ 各地区PTAに呼びかけて、保護者の参加を募り学校と家庭の連携による参加体制の充実を図った。

⑦ 地元神輿会の「陵友陸会」メンバーとの連携強化と生徒同士・教員との協調を図るため、「交流会」を実施し、お互いに「神輿の祭典」の当日に向けて、励まし合いながら「心をつにた」みこし担ぎになるよう、心の交流を図った。

⑧ 生徒120名、保護者40名、職員40名の200名の体制で参加できた。

(2) 学校・周辺地域と一体の交通安全運動の推進・花いっぱい運動(若草のみち活動)

ア 「若草のみち」推進運動について

本校生の通学路でもあるこの道路は、西寒河江駅前のY字路入口から米沢(よなご)十字路までの米沢街道全長2600mの道路を呼んでいるもので、本校の先輩が名付けたものである。

昭和52年12月に、道路周辺の全企業、会社、商店、町内会、寒河江工業高校を含めて「交通安全模範道路推進委員会」設立総会が開かれ、この道を「若草のみち」と名付けて発足した。現在の会員は71団体である。

以来、今日まで交通事故防止と環境浄化活動が地域一体となって推進され、工業団体の企業数も増え、交通量が年々増加しているが、死亡事故は1件も起きていない。

イ 活動内容

① 若草のみち交通量調査

昭和56年から毎年、6月の一日を朝7時から夕方7時までの時間帯に本校の生活委員と、会員各社、商店、町内会の代表者により、大型車・普通車・二輪車・自転車・歩行者の通行量を調査し、その推移を調べて運動に役立てている。



② 若草のみち歩道と周辺の清掃活動

7・9・11月に本校生による清掃活動を実施し、環境美化を推進している。また毎月15日を「地域環境美化浄化デー」として、啓蒙のぼり旗を掲げて、若草のみちの周辺の環境浄化を図るため、会員が工業団地内・会員町内・緑地公園・学校周辺のグラウンドワークを促進している。

③ 若草のみち交通安全街頭指導

5・6・10・11月の年4回、職員・生活委員により、朝と放課後の立哨指導を約1週間行い、「若草のみち」を通る本校生及び一般の歩行者・車の運転者に交通安全を呼びかけている。

④ 「花いっぱい運動」の推進

若草のみち、工業団地内の道路の植樹帯に、全校生と会員による、花苗の植栽活動を実施している。

平成10年度 第1回 11月11日(水)

1年生170名 職員15名

会員(企業・商店・町内会から)約100名

約2500本のパンジーを植栽する

第2回 12月5日(土)

2・3年生380名 職員20名

会員(企業・商店・町内会から)約50名

約6000本のマツバギクを植栽する

平成11年度 第1回 9月4日(土)

1・2年生368名 職員20名 会員(企業・商店・町内会から)約50名

約6000本のアジュガを植栽する

第2回 10月2日(土)

3年生193名 職員15名 会員(企業・商店・町内会から)約50名

約1500本のパンジーを植栽する



4 実践の成果と今後の課題

(1) 成果

- ① 地域行事への参加は生徒に大きな自信と感動を与え、地元の工業高校に対する目を変えた。

みこしの全長は約7mで、全重量は360kg、生徒数約100人で少し重すぎる感はあったが、約5万人の沿道の人々の温かい応援を得て、肩に食い込んでくる苦痛にも歯をくいしばって沿道約1.5kmを練り歩いた。

9月の夜空、HIMを見物に來られた地域住民の方々もたくさんおり、高校生が今時地域の市民行事に参加するのは前代未聞であること、工業高校の生徒が製作した「光って、動いて、音がする」みこしとはどんなものか興味関心があったこと等が手伝って熱い目が注がれ、生徒たちは地元からの予想以上の反響に驚き、感動したようである。

参加した生徒一人ひとりの自信につながり、郷土のよさを再確認し、自分が本当に地域社会の一員であることを肌で感じたようである。

生徒の感想には、最初は恥ずかしかったが、無我夢中で担いでいるうちに、感動がこみあげてきて、喜びに変わり、自分のふるさとがこんなによいものだとは思わなかったと述べている。

② 豊かな人間性と感性を涵養させる絶好の機会

生徒の感想にもあるが、「神輿の祭典」への参加で得た多くの感動は、一生忘れないであろう。また、地域住民と一緒に「若草のみち活動」を推進していくことは、すばらしいものがある。充実した一年であった。今後は更に活動の幅を広げ、常に地域の先頭に立ってがんばって欲しいと後輩の活動に期待する3年生である。

「生徒一人ひとりの充実感・多くの感動」が豊かな人格形成につながるようになる。

③ 感動、満足感が意欲的な活動へと動く

各報道機関により、取り組みを紹介されることで、地域社会の人々も、本校に対する見目が違ってきたようで、工業高校の内容や活動状況を知ってもらうことができ、生徒も工業高校で学ぶことへの自信をつけてきている。

④ 神輿まつりへの参加、地域に貢献する活動の実践という目的をもったことが、学校全体に波及し、生き生きとした日常生活をつくりあげている。

学校を訪問する人のことばに、「本校生はあいさつがしっかりできている」という評価を得ているこの頃である。

⑤ 新しい時代の「新たな伝統」としての生徒会活動

生徒会長が、4月の定期総会の「所信」で、運営の大きな柱として、「神輿祭りへの参加」をあげ、取り組みの強化を要請し、「寒河江工業高校」の伝統としてつくり上げようと述べている。

(2) 課題

- ① 9月15日の「神輿の祭典」への参加は、翌日が就職試験の実施日と週末に運動部の地区高校新人大会が控えており、進路指導と部活動の練習との兼ね合いから100名の参加者の確保について、早期に計画的取り組みを必要とする。

- ② 地域活動の実践に当たっては、学校全体としての取り組みを進めているが、学校の年間計画と日常的教育活動との関連を図りながら推進することが必要である。

- ③ 地域社会に根ざした工業高校を進めるには、地域の行事等に参加して、地域社会や産業界を「知る」ことも重要なことであるが、工業高校の内容や活動状況を知ってもらう即ち「知られる」ことも大事なことである。(文責 教諭 沼澤 千春)

校長からひとこと

本校での、地域に根ざした人材育成の取り組みは、地域に開かれた学校として理解が得られ、地域と学校が共通認識により人づくりについても様々な場面で協力的になっている。また、地域社会での体験活動が、生徒に、社会の一員としての自覚をもたらし、将来スペシャリストとして生きるのに大きな自信につながってきているものと思われる。

提言（特別寄稿）

生き方の指導の充実を目指した特別活動の在り方について

山形大学教育学部助教授 渡辺 誠

はじめに（問題の所在）

文部省は、平成5年2月に都道府県教育委員会等に通知を出し、業者テストによる偏差値等への依存を改め、生徒一人一人の能力・適性等を考慮した本来の進路指導に立ち返るよう求めた。その際、進路指導改善のための四つの視点として、「学校選択の指導から生き方指導への転換」、「進学可能な学校の選択から進学したい学校の選択への指導の転換」、「100%の合格可能性に基づく指導から生徒の意欲や努力を重視する指導への転換」、「教師の選択決定から生徒の選択決定への指導の転換」を提示した。

進路指導がこの指針どおり改善されれば、不如意入学が減少して中退率も多少は下がることと期待されていたが、現実には下の表のように中退率が下がるどころか、再び上昇へ転じてしまった。

・高校中退の実態（公・私立高校の中退者数・中退率）（文部省調べ）

	平成元	2	3	4	5	6	7	8	9
中退者数	123,069	123,529	112,933	101,194	94,065	96,401	98,179	111,989	111,491
中退率	2.2%	2.2%	2.1%	1.9%	1.9%	2.0%	2.1%	2.5%	2.6%

平成9年度の中退者の中退事由は、主なものとして、「進路変更」が40.8%、「学校生活・学業不適応」によるものが33.4%であった。さらにこの事由を掘り下げると、「進路変更」の内訳は、「就職を希望」が59.0%、「別の高校への入学を希望」が17.9%、「専修・各種学校への入学を希望」が9.2%、などである。「学校生活・学業不適応」の内訳は、「もともと高校生活に熱意がない」が43.9%、「授業に興味がわかない」が18.4%、「人間関係がうまく保てない」が14.8%、などとなっている（文部省調査）。

文部省は、平成10年1月に公立中学校の第三学年の学級担任教師、生徒、保護者を対象とした「進路指導に関する総合的実態調査」を実施した。その調査によれば、担任教師の55.5%が「生徒が自分の意思で自己の進路を決めるようになった」と肯定的に評価しているが、その一方で、「生徒が将来の生き方や進路について真剣に考えるようになった」と回答した教師は、33.9%しかいなかったということである（「文部広報第1006号」）。

若者の就職状況についてみれば、新卒者の離職率も、文部省の「学校基本調査」によると、就職してから1年目までの離職率は、93年3月卒と97年3月卒を比較すると、高卒男子が18.2%から23.2%へ、高卒女子が19.2%から26.0%へ、大卒男子が7.9%から11.7%へ、大卒女子が13.4%から18.3%へといずれも増加している。また、若者の失業率も92年と98年を比較すると、10代後半が6.7%から10.6%へ、20代前半も3.9%から7.1%へと増加している。

たとえ仕事に就いていたとしても、所謂フリーターと称される人たちが、1991年の「労働白書」と1997年の総務庁の「産業構造基本調査」から推測すると、25歳未満では53万人から90万人へ、30歳未満では73万人から124万人へと増加しているとのことである。（小杉礼子著「高卒無業者の増加と学校進路指導」；『季刊 教育法』121 平成11年9月 エイデル研究所）

以上のことから、進学や就職という進路指導において、最近の経済の不景気という事情を割り引いても、やはりその指導の在り方を根本的に考え直さなければならないであろう。

I 学習指導要領の改訂について

このように進路指導を含めていろいろ問題が噴出している中、それらを解決すべき学習指導要領の改訂がなされた。平成10年12月に小学校と中学校の学習指導要領が、11年3月に高等学校学習指導要領が告示された。

これらは、平成8年の第15期中教審の第一次答申を受けて平成10年に出された教育課程審議会の答申に基づいて作成されたもので、その中教審答申は、21世紀の我が国の教育の在り方について、[ゆとり]の中で、「生きる力」をはぐくむことを重視することを提言したもので、それを受けた教課審は、学力を単なる知識の量ととらえる学力観を転換し、教える内容をその後の学習や生活に必要な最小限の基礎的・基本的内容に厳選し、生涯学習の基礎となる学ぶことの動機づけや学び方の育成を一層重視するよう提案している。

特別活動については、「児童生徒の個性の伸長と調和のとれた豊かな人間性を育成するとともに、・・・特に、好ましい人間関係の醸成、基本的なモラルや社会生活上のルールの習得、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成、ガイダンスの機能の充実などを重視する視点に立って、内容の改善を図る」とか、「家庭や地域と協力し連携を深めながら、自然や文化との触れ合い、地域の人々との幅広い交流など、自然体験や社会体験等の充実を図る」という改善の基本方針が打ち出された。

これを受けて、中学校学習指導要領の第1章総則の「第6 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」のところでは、「生徒が学校や学級での生活によりよく適応するとともに、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるよう、学校教育活動全体を通じ、ガイダンスの機能の充実を図ること」ということが、また、高等学校学習指導要領第1章総則第6款5の(2)にも、「学校の教育活動全体を通じて、個々の生徒の特性等の的確な把握に努め、その伸長を図ること。また、生徒が適切な各教科・科目や類型を選択し学校やホームルームでの生活によりよく適応するとともに、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるよう、ガイダンスの機能の充実を図ること」と記されている。

特別活動の内容、特に学級活動の内容について、社会の一員としての自覚を深め、人間としての生き方の指導の一層の充実を図る観点から、「ボランティア活動の意義の理解」が加えられ、また、ガイダンス機能の充実を図る観点から、平成元年度のものでは学業生活の充実に関することと将来の生き方と進路の適切な選択に関することが分離されていたのが、今回の改訂では同じ枠組みに入れられ、「教科等（高校は、教科・科目）の適切な選択」、「進

路適性の吟味（高校は、理解）と進路情報の活用」，「望ましい職業観・勤労観の形成（高校は、確立）」，「主体的な進路の選択（選択決定）と将来設計」に先立ち，「学ぶことの意義の理解」が指導内容として例示された。

とにかく，今回の改訂では，人間としての在り方生き方の指導を充実するという観点から，自然体験や社会体験の重視とガイダンスの機能の充実ということが強調されている。

II ガイダンス機能の充実が強調された理由

ガイダンスという言葉は戦後アメリカの教育理論の影響を受けて学校教育に導入され，その後生活指導あるいは生徒指導という言葉に置き換えられて昨今ではあまり用いられなくなったのに，今再び強調されるのは何故なのだろうか。

今回の特別活動の改訂に際して主導的役割を担った文部省中学校課教科調査官の森嶋昭伸氏は，その理由の一つに，「学校生活へのよりよい適応，好ましい人間関係を自らの力で築く姿勢，選択教科等の選択に当たって自らを見つめ自己を生かす適切な選択，進路の選択について自らの意思と責任で主体的に選択していく態度，そして学校外の生活でも自らを律し高めていく姿勢，そして自己教育力・自己指導能力をはぐくむための指導・援助の重要性から学習指導要領に新たに登場したものである」（『特別活動研究』1999年7月号 No.391 明治図書）と説明している。また，「進路指導では，教師誰もが，それぞれ固有の進路の経験者であるから，教職員全体で力を合わせ，様々な教育力を指導に生かそうという姿勢が一般的である。翻って，生徒指導はどうであろう。時として，訓育的，個別的な指導が強かった。それを，もっと学校総体の力を結集し，生徒指導が「生きる主体」として自覚と責任感を深め，自ら選択決定していくための指導・助言を充実していくことが大切であろう」（前掲書）と述べ，従来の生徒指導の問題点を指摘してその改善の必要性をもう一つの理由に上げている。

森嶋氏がガイダンスを重視した背景に，個々の場面での適応や選択がうまくいかないケースにあってはカウンセリングもよいが，生徒一人一人が現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を身に付け高めていくためにはガイダンスの方がより適当であるという考えがあるようである。（『特別活動研究』1999年8月号 No.392）

III 特別活動の改善に向けての具体的な実践例あるいは提言

最近注目されている実践に，兵庫県教育委員会が平成10年度から実施している「トライやる・ウィーク」の事業がある。この事業は，県下一斉に中学2年生に5日間社会体験させるというもので，そのねらいは，生徒に時間的・空間的なゆとりを確保し，生徒が5日間実社会において学校ではできない様々な活動に挑戦し，豊かな感性や創造性を高めたり，自分なりの生き方を見つめたりすることができるよう支援することと，この事業を通して学校・家庭・地域社会三者の具体的な連携・協力関係の下，「地域の子どもは地域で育てる」実効ある仕組みをつくるということのようである。

この事業の成果として，生徒からの感想として，「将来の職業に対し夢や希望をもつとともに，親の苦労が実感でき，感謝の気持ちをもつようになった」とか，「自分では気付かない自分のよさを，仲間の言動から発見した」というような声が寄せられている。このような

感想が出てきたことは，この事業が新しい学習指導要領が求めている現在及び将来の生き方を考え，行動する態度や能力を育成するという課題に既にかなりの程度応えていると評価できよう。

このような実践を迫認するかのような提言が，日本労働研究機構の下村英雄氏から報告されている。彼は，現在の高校生の目的意識のなさという実情を踏まえて，「自主性・主体性を強調するという規範的な進路指導理念について改めて考え直す必要があると思われる」（『高校進路選択における生徒の意識』；『季刊 教育法』121 平成11年9月 エイデル研究所）と述べている。そして，彼は次のように提案している。

第一に，生徒の進路選択の指針となるような適切な職業情報を与える。それも，自分にはどのような進路が可能で，どのような職業生活が送れるのか，ある職業はどのような役割を果たし，その職業によってどのような価値を実現できるのかなどを具体的に提示する。第二に，本人の「ある職業をうまく行えるという見込み」は職業遂行上重要であり，そうした見込みは実際に何らかの形で類似した課題を達成した経験や，そのような経験をしている人を観察することによって高まると考えられているから模擬的な職業を経験する機会を生徒に積極的に提供する。第三に，可能な選択肢・可能な職業生活などを生徒に理解できる形で提示する。

結局，彼は，このように可能な進路・職業選択肢の提示や模擬的な職業の経験という現実的かつ具体的な指導によって，はじめて生徒は真に自主的・主体的に自らの目標を探し始める，という考えに立って上のような提案をしたようである。

IV 結 び（自己の存在を確認できるような体験を）

中教審は教育を「子供たちの「自分さがしの旅」を扶ける営み」と，また，教課審も「子どもたちは，幼児期から思春期を経て，自我を形成し，自らの個性を伸長・開花させながら発達を遂げていく。教育は，こうした子どもたちの発達を扶ける営み」と捉えている。

このような教育を子どもの学習を扶けることと捉える教育観の源流に，J.J. ルソーの教育観がある。彼は，教育の目的を，「自然の秩序のもとでは，人間はみな平等であって，その共通の天職は人間であることだ。・・・生きること，それがわたしの生徒に教えたいと思っている職業だ」（岩波文庫『エミール 上』31頁），と述べている。また，その「生きること」の意味を「わたしたちの器官，感官，能力を，わたしたちに存在感をあたえる体のあらゆる部分をもちいること」（前掲書 33頁）と説明している。ここには，器官・能力の活用（経験）による全面発達・自己実現の考えに通じるものがある。

特別活動は，その活動の特質から，「自分さがし」に最適な場を提供するであろうし，下村氏のいう可能性ある職業選択や将来設計を考える機会を提供することができよう。現代の高度情報化社会の下，自分の存在も実感できず，「透明な存在」というような不確実な自己認識をもつような子どもまでが出現している。それ故，一層感覚的にも自己を確認できるような具体的・実践的な社会体験や自然体験を通して，自分の生き方を考える機会を提供することが大切である。ガイダンスは，ことばによる指導だけでなく，そのような実践的な体験を通してはじめて効果的に機能するものと思われる。

Ⅳ まとめと今後の課題

- 少子家族が一般化し、子どもをとりまく生活環境が急激に変化して、自然体験や生活体験の場がほとんどなくなっている。当然のように、人間関係の結び方・処し方を学ぶ機会も少なくなり、思いやりなど他者とのかかわりが希薄化してきている。
- 本研究は、こういう中で、子どもが生きる意味を見つけ、生きる目的を高めるための特別活動の姿を探ろうとしたものである。

- 第一に特別活動と他の学習分野との整合性と体系化を図り、教科・科目の枠を超えた「学習の総合化」を実現させなければならないと考えた。これまでの特別活動は、とすると、子どもが楽しみながら実践を継続するというよりも、その場、その場での活動になる傾向が強かったのではないかと。特に、総合的な学習の成果を特別活動における実践レベルにまで高め、深化させる必要があろう。

第二に、学習指導や生徒指導、進路指導との関連から、特別活動を通して、いかにしてガイダンス機能の充実を図るかを明らかにしようとした。学級（ホームルーム）活動は、子どもが自己発見や自己実現を図るうえで、ガイダンス機能を発揮しやすい場である。教師が積極的に働きかけ、自己決定のできる子どもを育成したいものである。

第三に、生徒理解を深めながら、個性とともに協調性を涵養するための指導方法について問い直すことが必要であると考えた。子どもの個性を大事にして、あらゆる機会を通して個性を伸ばせるように支援してやりたいものである。また、校内外の様々な集団活動の場で自己教育力や省察力などの素地を培い、協調性の育成に努める必要がある。

第四に、体験活動を重視する特別活動と総合的な学習は、生徒文化の変容を促し、新しい学校文化づくりの格好の場になり得る考えた。それには、教師の意識改革が必要であり、地域の教育力を生かすとともに学校の人的・物的教育力や子どもの活力を地域に還元する必要がある。「開かれた学校」を創造し、地域に根ざした独自の学校文化づくりに努めたいものである。

- 今後、総合的な学習をどのように展開させるか、そして特別活動との有機的関連をどのように図るか、各学校の創意工夫が求められるところである。

また、教師がガイダンスの考え方を身につけることと、「教える」だけでなく「育む」ことを重視した学校あげての実践が期待される。

更に、学校の歴史と地域社会の環境・風土を踏まえ、独自性や地域性を明確に打ち出した学校文化をいかに育てるか。各学校の積極的な取り組みが待たれる。

平成 12 年 3 月 27 日 印刷

平成 12 年 3 月 31 日 発行

発行者 山形県教育文化フォーラム

天童市大字山元字大倉津2515
県教育センター内
TEL (023) 654-9691

印刷所 アベ印刷株式会社

山形市船町82
TEL (023) 681-1951

本誌は再生紙を使用しています。

表紙のデザインは山形県教育センター木村明彦指導主事の制作による。